



2023 年 9 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社 fonfun
代表者名 代表取締役社長 水口 翼
(コード番号:2323 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営管理部部長 八田 修三
(TEL:03-5365-1511)

上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況

当社は、2021年12月15日に、「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出し、その内容について開示しております。その後、2023年3月31日基準日時点における計画の進捗状況等について、2023年6月30日に開示しておりますが、この度、中期経営計画を刷新したため、計画の今後の取り組み内容に変更が生じたので、お知らせいたします。

なお、新しい中期経営計画は本日付け「中期経営計画の策定に関するお知らせ」にて開示しておりますので、ご参照ください。

記

○当社の上場維持基準の適合状況の推移及び計画期間(前回開示内容再掲)

当社の2023年3月31日基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、下表のとおりとなっており、基準日を経過していることから適合判定の審査依頼を行った結果、東京証券取引所より「適合状況通知」があり、流通株式時価総額基準につきましては、基準日時点においても基準を満たしておりません。下表のとおり、流通株式時価総額基準に関しては2025年3月末までに上場維持基準を満たすために、引き続き各種取り組みを進めてまいります。

		株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の 適合状況 及び その推移	2023年3月末 時点	1,638	12,239	4.1	36.2
	2021年6月末 時点	1,677	13,875	7.1	41.0
上場維持基準		400	2,000	10.0	25
計画期間				2025年3月末まで	

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

○上場維持基準への適合に向けた取り組みの実施状況及び評価(2021年12月～2023年3月)

(1) 流通株式時価総額について

- ・中期経営計画の2023年3月期予算にくらべ、売上高で1千8百万円、営業利益において約1千万円上回っており、営業利益目標について順調に進捗しております。これは、SMS事業において、拡販対象の業種を絞ることにより、営業効率が高まった結果と考えております。
- ・2022年11月にSMS事業において事業譲受を実施しており、M&Aによる事業規模拡大を実現しております。
- ・一方、課題となっていたIR強化及び個人株主の増加については、社長直轄の広報・IR担当部署を創設することが決まり、今後は着実に進めてまいります。

○上場維持基準に適合していない項目ごとのこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取り組み内容

(1) 流通株式時価総額について

- ・当社の流通株式比率は2023年3月31日基準日時点で36.2%であり、スタンダード市場の上場維持基準に適合しておりますが、流通株式時価総額の上場維持基準に適合しておりません。

2023年6月28日付「サイブリッジ合同会社による当社株式に対する公開買付けの結果並びに親会社及びその他の関係会社、主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、サイブリッジ合同会社が所有する当社株式の割合が、特別関係者であるサイブリッジコーポレーション株式会社の所有する株式と合算して65.47%となり、安定的に上場維持基準へ適合するためには、株価1,000円程度を維持する必要があると考えております。

株価及び流動性をさらに向上させることが引き続き課題であり、その解決には持続的な成長と中長期的な企業価値向上が不可欠であることから、安定収益の確保、テックカンパニーへの進化を重点施策とした新中期経営計画を本日付けで策定して別途開示いたしました。この新中期経営計画では、2026年3月期までに時価総額100億円程度になることを想定しており、計画を達成する過程で、2025年3月期には流通株式時価総額に関する上場維持基準へ適合すると見込んでおります。

【2026年中期経営計画の概要】

〔方針〕

- ・ 自社のコアコンピタンスを「DX」と定義し、「DX」による付加価値最大化を実行可能な企業集団となることを目指します

〔数値目標(2026年3月期)〕

- ・ 売上高 20億円
- ・ EBITDA 4億円(利益率20%)

〔重点施策〕

- ・ 既存事業による安定収益の確保「SMS事業及びリモートソリューション事業の安定成長」
- ・ テックカンパニーへの進化
 - セールス中心の組織からエンジニア中心の組織へ
 - DX事業への進出
 - ネット領域企業のM&A

以上